

## 九町小児童の「話す・聞く・話し合う」

7月に全校児童を対象に「話す」「聞く」「話し合う」ことについての意識調査を行いました。集計結果から見えてきた傾向と課題を紹介します。

項目	全体の傾向	課題
話すこと	自分の意見を伝えることに積極的であるが、意見が整理されていないことが多い。	意見が明確でなく具体例が不足しているため、相手に伝わりにくいことがある。
聞くこと	話し手の意見を聞いているが、ときどき表面的にしか聞いていないことがある。	話し手の意見を深く理解できていないため、効果的な質問や意見を伝えることができない。
話し合うこと	自分の意見を発表できる児童が多いが、周囲の意見を取り入れたり、建設的な意見に結び付けたりするような議論ができていない。	決断が一方通行になりがちで、共同で新しいアイデアを生み出すことが難しい。

左の表のような傾向と課題が明らかになりました。

積極的に意見を発表できることは、児童の長所の一つです。この長所を生かしつつ「話す・聞く・話し合う」技能を高めるには、意見を論理的に整理し、相手に分かりやすく伝える力を養うことが大切です。

そこで、各学年でスピーチを経験させたり、グループで話し合わせたりする機会を設けて「伝える力」を育てています。

また、基本的なことですが、「理由や根拠を示しながら考えを述べる」「話している相手を見て、うなずきながら聞く」という指導も継続していきます。

### 第1回 統合検討委員会開催

9月30日に第1回統合検討委員会が開催され、委員の皆さんが今後の活動について話し合いました。統合検討委員会のメンバーは、九町と二見それぞれの区長代表、PTA 三役、専門部長、校長、教頭（事務局）など、合計10名で構成されています。

今回、伊方小学校との統合に向けて、「記念誌の発行」「記念碑の制作」「閉会行事」を主な活動の柱とし、PTAが中心となって進めていくことが決まりました。また、話し合いの中で、標準服やPTA規約、通学バスの停留所など、統合に伴う具体的な点についても話題に上がりました。

保護者の皆さまの中には、統合に賛成でも不安を感じている方もいらっしゃるのではないかと思います。そこで、統合検討委員会では、皆さまから幅広く御意見や御質問をうかがうためにアンケートを実施いたします。アンケートは10月4日にお子さまを通じてお配りしますので、どうぞお気軽に御意見や御質問をお寄せください。